

# さんらいずにゆうす

学校だより

2024年6月20日

5・6月号

日出学園小学校

校長 荻原 巖

行事が盛りだくさんの1学期も残すところあと1ヶ月を切りました。この号では、4月から子ども達が体験してきた各行事についてご紹介したいと思います。



## 春の全校遠足



### 小岩菖蒲園（1・5年生）

「おはようございまーす！ペアのお兄さんの名前、おぼえてきましたー！」という、元気いっばいの声とともに教室に入ってくる1年生。楽しみにしていた小学校初めての遠足の日です。校門を出ると、「5年生、道路側だよ！」と、頼もしいお兄さん、お姉さんの声。菖蒲園につくと、さっそくおにごっこや虫探しをして遊びました。

「せんせーい！5年生からにげてまーす！」

すばしっこく逃げ回る1年生を、一生懸命追いかける5年生。まるで、トムとジェリーのようでした。たくさん遊んで、待ちに待ったお昼ごはん。5年生のシートに、ペアの1年生がいっしょに座り、おいしく楽しくあつという間の時間でした。

つぎは、兄弟ランチタイムで会えるのが楽しみですね。



### 里見公園（2・6年生）

2年生は、6年生のことがとっても大好きです。なぜなら、去年からお世話になっていて、いつも優しく接してくれるからです。そんな6年生と一緒に行く遠足を、2年生は心から楽しみにしていました。里見公園までの往復6キロメートルの道のりを、6年生が2年生の安全を考えながら、手を握り、歩いてくれました。

到着してからも、2年生を楽しませようとしてくれる6年生の姿が印象的でした。何度もブランコを押したり、鬼になって追いかけたりするお兄さんお姉さん。6年生のおかげで、2年生は楽しい1日を過ごすことができました。この経験を胸に、2年生も立派な高学年になれるようにがんばります。



### 江戸川河川敷（3・4年生）

学校から江戸川河川敷への道中では、4年生が車道側を歩いたり、歩くペースが遅れてしまった子を励ましたりする等、上級生として、頼もしい姿が見られました。また3年生も交通ルールをしっかりと守り、まっすぐ列になって移動することができました。

河川敷では、学年を越えて色々な子と遊んだり、昼食時に楽しそうに話したりする様子が見られ、交流が盛んに行われていました。遊ぶ時のルールもしっかり守り、大きなけがをする子がいなかったのは、1人ひとりがメリハリのある行動ができていたからだと思います。

子どもたちの成長を実感できる、素敵な遠足となりました。





# 自然教室

(5月15日~17日)



## 4年生

館山 (マザー牧場・沖の島・鴨川シーワールド)



初めて自然教室を経験した4年生。日を重ねるごとに凛々しい顔つきに変わっていく様子は、高学年の入り口に立った4年生として、これから先の成長をこの上なく予感させてくれるものでした。

マザー牧場や鴨川シーワールドでは、多種多様な生き物に目をキラキラと輝かせていました。また、実際に海の生き物と触れ合う機会となった沖ノ島での磯遊びでは、磯の中を嬉々とした様子で探し、「ここにカニがいるよ!」「みんなでつかまえよう!」と、自然と協力し、楽しみを分かち合う姿勢が見られました。

夜のプログラムでは星の観察と海草のしおりづくりを行い、存分に館山の風土に触れることができました。天体望遠鏡でのぞいた月はまるで図鑑を切り取ったかのように鮮明で、驚きと感嘆の声であふれていました。

家族と離れて友達と過ごした3日間は貴重な経験になったとともに、大切な思い出として刻まれたことでしょう。



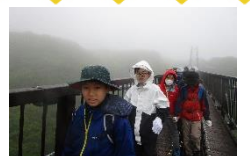
## 5年生

那須 (大谷資料館・那須平成の森)



楽しみにしていた茶臼岳登山が悪天候により実施できず、代わりに行った那須自然研究路と八幡つつじのハイキングでは、横風が吹く中高さ約40mのつり橋をドキドキしながら渡りました。かつて一帯が硫黄の産地だった殺生石の見学や満開つつじの中を歩くなど、登山ではできなかった体験をすることができました。大人でも大変な道のりでしたが、弱音一つこぼさず、一步一步を着実に踏みしめていました。

天気にも恵まれた最終日の那須平成の森では、ガイドさんと広大な国立公園を学び場に、ツキノワグマをはじめとした野生動物の痕跡を見つけたり、自然の中からお題の色を探し出すレクリエーションを行ったりしました。今回の自然教室を通して、人間の力では抗うことができない自然の力と同時に、その美しさや雄大さなど、自然の多様な表情を感じ取ることができた3日間となりました。ここで得た気づきを教室に持ち帰り、今後の学習にも生かしてもらえればと思います。



## 6年生

日光 (足尾銅山・<sup>けごん</sup>華厳の滝・戦場ヶ原・日光東照宮)



最高学年としての1年間が始まりました。1学期は兄弟遠足や運動会など様々な行事がありました。子ども達が一番と言っているほど心待ちにしていたイベントがこの自然教室でしょう。4・5年生の頃は家族と離れるのが心細く、寂しい思いをしていた子ども達も涙を流すことなく、部屋では皆で話し合い、次の行程の準備をしたり、笑顔で過ごしていたりする様子が見られました。特に印象的だった場面は、宿での食事の時間です。はじめは、皆で何気なくご飯を食べていましたが、どこからともなく誰かの大きな声が聞こえてきました。「今日は〇〇さんの誕生日です!!お祝いしましょう!!」その後は、総勢100名によるハッピーバースデーの大合唱。突然のサプライズに照れくさそうにしている子もちらほら。なんと、誕生日のお祝いは自然教室の3日間、毎日行われました。ともに笑い、助け合い、乗り越えた3日間。深く心に残る素敵な時間となったことでしょう。







# 新緑の大運動会



6月1日、運動会が行われました。予行練習も雨で延期、前日までも雨、心配されていた開催でしたが、青空のもと、大変盛り上がった運動会となりました。大きなご声援ありがとうございました。

## 1年生

小学校初めての運動会。普段は使わない大グラウンドで出来るだけでもわくわくしている様子でした。応援も最初は恥ずかしくて声が出ていなかった子ども、だんだんと大きな声で応援、声援を送っている様子が見られました。また、練習ではうまく出来なかったことが、本番ではうまく出来たところも多くあり、1年生の力も感じられました。運動会後に書いた絵では、笑顔で楽しそうにしている様子を上手に描いていました。



## 2年生

2年生は、大玉転がしと障害走、学園天国（ダンス）の競技を行いました。今年は天候不順で予定されていた通りに練習を行うことができませんでした。しかし、少ない時間で子ども達は、集中して練習に取り組んでいました。本番では、2年生らしい可愛らしい姿と、1年生から成長した逞しさが見られました。この日は、太陽のように輝いた子ども達の笑顔が見られた1日となりました。



## 3年生

カラフルな衣装で登場したのは、ダンス「MORNING SUN」です。休み時間にお手本の動画を見ながら練習をたくさんした結果、そろった演技を披露することができました。団体種目の台風の目では、最後まで勝敗がわからないくらいの接戦を繰り広げました。いつも以上に真剣な顔をしている子どもたちの様子をみることができました。徒競走では、タイム別に走る順番を決めました。「今年は2位になれたよ。」と言った喜びの声が聞こえてきました。



## 4年生

去年までとは違い、応援団や吹奏楽クラブとして朝早くから練習に励んだ児童もいた4年生。ダンス『jump rope jump dance』には長縄での演技もありました。みんなの気持ちが一つになるにしたがって掛け声が元気になり上手に跳べるようになりました。団体種目の棒引きでは、男女4グループに分かれ作戦会議を行い、本番に挑みました。周りを見て自分が何をするとみんなの為になるか考えた経験は今後の生活にも生かしてほしいと思います。



## 5年生

高学年の仲間入りをし、係や手伝いなど運動会を支える側の役目を担い、率先して活動することができました。鼓笛隊では、本番前日まで何度も立ち位置や隊列移動の確認の練習をし、団体行動の難しさや周りを見て互いに合わせる大切さを実感することができました。6年ぶりのよさこいソーランでは、鳴子を使った躍動感のある力強いパフォーマンスを見せてくれました。鼓笛隊もよさこいソーランも何度も練習を積み重ねてきたからこそ素晴らしい演技となり、下級生の憧れとなったことでしょう。



## 6年生

エイサーや騎馬戦をはじめ、6年生の競技は運動会の花形として注目が集まります。一方で、会場準備といった裏方の運営も引っ張っていかねばなりません。「みんなが揃った演技をするためにはどうする?」「どうしたらみんなが大きな声で応援できるかな?」子ども達の自主性を尊重し、先生はあえて課題を提示します。その課題に子ども達は試行錯誤しながらも取り組み、みんなが全力で取り組める運動会を成功させました。

